

授業科目 相談援助演習 IV

【担当教員名】 青木 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 地域福祉援助活動（コミュニティワーク）の事例をもとに、ニーズ把握からサービス評価に至るプロセスについて、小グループでのディスカッションと全体発表を段階的に積み重ねながら、一連の援助過程を実践的に理解するとともに、それを理論的に体系立てられる思考力と表現力を身につける。 保健・医療・福祉の連携、地域ネットワークの活用や連携における専門職としての視点（思考）と方法（技能）を学び、その習得を目指す。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 地域住民へのアウトリーチとニーズ把握について実践的に取り組む 2. 地域福祉計画について実践的に取り組む 3. ネットワーキングについて実践的に取り組む 4. 社会資源の活用・調整・開発について実践的に取り組む 5. サービスの評価について実践的に取り組む				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーションとグループの編成		講義・演習（アイス・ブレイキング）	
2	地域福祉援助活動の展開 1	1	グループでの演習および作業	
3	地域福祉援助活動の展開 2	1	グループでの演習および作業	
4	地域福祉援助活動の展開 3	1	グループでの演習および作業	
5	地域福祉援助活動の展開 4	2	グループでの演習および作業	
6	地域福祉援助活動の展開 5	2	グループでの演習および作業	
7	地域福祉援助活動の展開 6	3	グループでの演習および作業	
8	地域福祉援助活動の展開 7	3	グループでの演習および作業	
9	地域福祉援助活動の展開 8	4	グループでの演習および作業	
10	地域福祉援助活動の展開 9	4	グループでの演習および作業	
11	地域福祉援助活動の展開 10	5	グループでの演習および作業	
12	地域福祉援助活動の展開 11	5	グループでの演習および作業	
13	事例検討の考察・総括 1	1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他	
14	事例検討の考察・総括 2	1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他	
15	まとめ	1, 2, 3, 4, 5	意見交換 討論 他	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	社会福祉士 相談援助演習	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2009・2,600円＋税
その他の資料				
【評価方法】 出席状況、参加態度、課題の達成度（発表やレポート）により総合的に評価する。		【履修上の留意点】 グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。		